

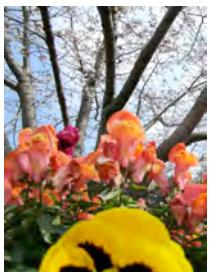
施設長新年度挨拶

新年度を迎えるに当たり

桑波田景郎

最近の世相に合わせるかのように、春彼岸は過ぎようとしているとは申せ気温の差が酷く朝晩戸惑っています。此の四月より二十七年度が始まるに当たり御挨拶申し上げます。

最近少子高齢化社会なる言葉の氾濫に伴い、近々人口の減少しつつある地方では明日にでも消滅するような議論を耳にする事が多くなっております。実際人口の二割以上が六十五歳以上という市町村は多数存在して、今後介護面に大きな影響を及ぼそうとしています。老老介護はもとより、少子のための負担増から親の介護放棄という考えられない様な事が増えてくるかも知りません。そのようなことの無いように介護人の養成、人員増はもとより、老健施設の設備・質の充実が必要になりますし、色々な法律も必要になるでしょう。それはそれとして私どもに出来る事はこのみなみかぜという老健施設を今まで以上に大隅南隅の方々喜んで利用して戴くよう、立派な施設として永久に存続させなければなりません。私は最初此の老健に入りました時、雰囲気意外に明るいのには驚き、親身な介護がこれの原因であろうと思いましたが、未だにそのように考えています。二十六年度はノロウイルスやインフルエンザにより、当初予定入所者数を達成することが出来ずに、合わせてディケアまで一時制限となり、当初の予算を下回る結果となりました。二十七年度は二十六年度決算を詳細に検討、無駄を省き一層の節約を心掛け介護二年生として働けるよう、間違っても留年という憂き目にならないよう努力してまいりたいと思います。皆様の御協力を切にお願い申し上げます。次第です。



第十回

花瀬駅伝大会

三月二十二日、錦江町田代で第十回花瀬駅伝大会が開催されました。田代地区一周、全長十六・四km全区間のコースを、当施設から走者を選抜し初参加者三人を含む精鋭七人での参加となりました。一生懸命走り切り、次の走者にタスキを繋ぐことを目標に頑張りました。

当日は、天候にも恵まれ絶好の駅伝日和となりました。独特の緊張感の中、ピストルの合図と同時に勢いよくスタートしましたが、思うような走りができず繰り上げスタートとなってしまいました。最後まで走りきることは出来ましたが良い結果は残せませんでした。

順位を見れば納得のいく結果ではありませんでした。チーム全員が団結して一生懸命走り切ったことに大きな意義を感じました。

来年は、少しでも良い結果が出せるように頑張りたいと思います。



介護報酬改定についてのご案内

日頃より、介護老人保健施設みなみかぜをご利用頂きありがとうございます。このたび介護報酬の改定が行われ、平成二十七年四月より施行されました。

今回の改定で国の方針として、重度の要介護者や認知症高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるようにするという考えを実現するため、在宅生活を支援するためのサービスの充実を図る点に重点が置かれた改定となっております。

また、介護報酬の改定により、ご家族様にはご案内いたしました、基本料金等の変更がありました。

今後、ご家族の皆様とお話しを持ちながらいろいろ検討させていただきます。ただればと存じますので何卒よろしくお願い申し上げます。